

結果の要約

1 職業

山形県の15歳以上就業者数(612,089人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が201,869人(15歳以上就業者数の33.0%)と最も多く、次いで「事務従事者」が98,871人(同16.2%)、「販売従事者」が75,957人(同12.4%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が8,017人(16.5%)増、「保安職業従事者」が190人(2.0%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が3,638人(20.4%)減、「運輸・通信従事者」が2,734人(13.1%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が36.0%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が29.6%、「販売・サービス関係職業」が23.2%、「農林漁業関係職業」が10.7%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.8ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.7ポイント、0.3ポイント、0.2ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は42.1時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.2時間、「管理的職業従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業者」が0.5時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が1.9時間減、「専門的・技術的職業従事者」及び「販売従事者」が1.6時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が168,732組(夫婦数319,047組の52.9%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が71,173組(同22.3%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が24,617組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の14.6%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が19,341組(同11.5%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は94,264世帯(住宅に住む一般世帯381,487世帯の24.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は287,223世帯(同75.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が115,906世帯(同30.4%)、「女性のみ」の世帯が34,962世帯(同9.2%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が26,300世帯(同6.9%)となっている。

図1 山形県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

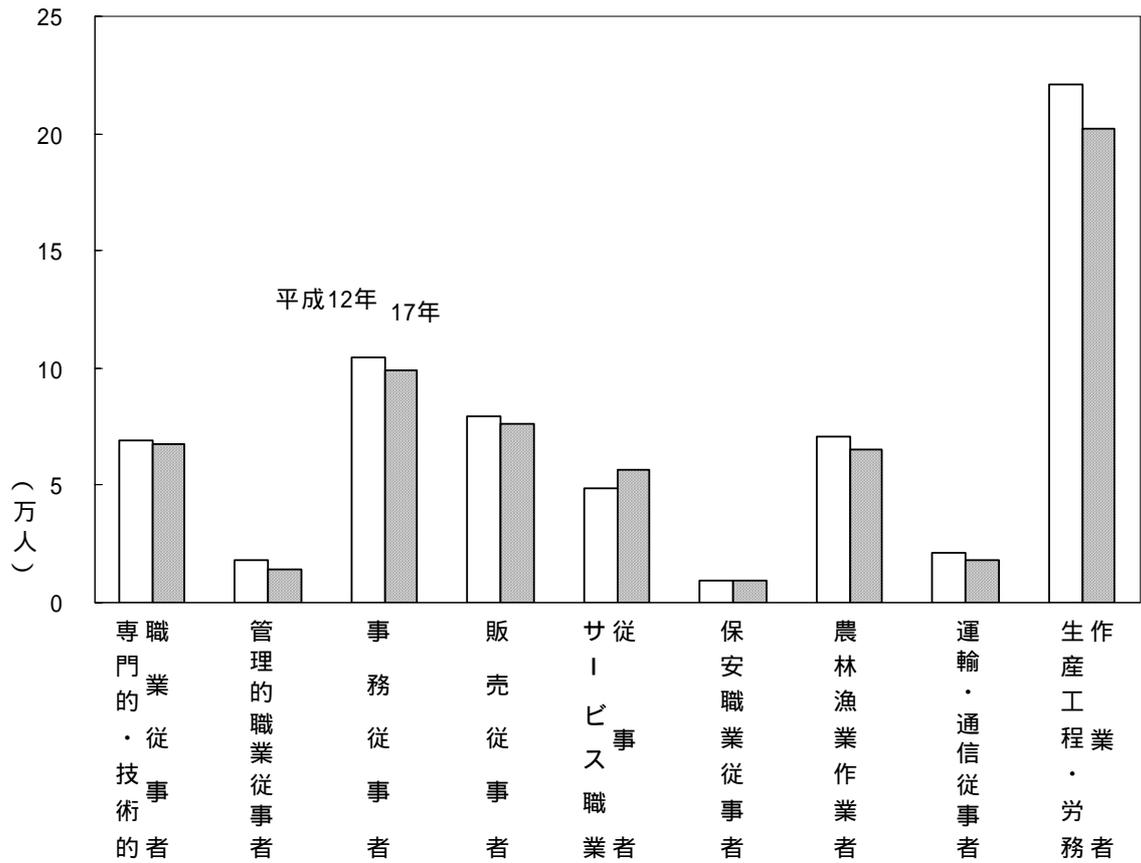


図2 山形県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

